

直腸切除+人工肛門造設(ロボット支援下含む)を受けられる

さんへ

入院時に持参してください。

説明日(/) 説明者氏名()

STA6200050

月日(日時)	(/)	(/)	(/)	(/ ~ /)	(/ ~ /)	(/ ~ /)	(/)	
経過(病日等)	入院日	手術前日	手術当日朝	手術直後~高度治療室(HGU)	術後1~3日目	術後4~7日目	術後8~14日目	術後15日目~退院日
達成目標	◇手術前の検査、処置の必要性が理解できる ◇精神的・身体的に手術に臨む準備ができる			◇血圧・脈拍・呼吸が安定している ◇深部静脈血栓症が起きない ◇痛みがコントロールできる(10点中3点以下) ◇ストーマに問題がない ◇術後合併症がおこらない(出血・腸閉塞・感染)	◇ドレーンの性状に異常がない			【退院基準】 ◇排便コントロールができる ◇退院について不安がない ◇日常生活の注意点について理解できる
治療・薬剤(点滴・内服)	内服薬がある方は薬をお預かりします	手術する部位の毛を剃ります おへそをきれいにします 点滴を24時間行います	麻酔科医の指示で起床時に薬を内服する場合があります		内服している薬がある方は医師の指示で薬を再開します	食事が進むと点滴が徐々に減ります		
処置		入浴後に下剤①を飲みます 21時に下剤②を飲みます 医師が人工肛門を造る位置の最終確認を行います	弾力ストッキングをはきます 手術着に着替えます	酸素マスクをしています → 呼吸状態に問題がなければ除去します 背中に痛みどめの管が入っています → 抜きます 術後3日までは痛み止めの注射を3~4回/日投与します 腹部にチューブが挿入してあります	歩けるようになったら脱ぎます 抜きます			
検査	血液検査があります			胸のレントゲンがあります	定期的に腹部のレントゲンと血液検査があります			
活動・安静度	病院内自由です			ベッド上で安静です 翌日から看護師と一緒に歩く練習をします		病棟内や渡り廊下などを散歩しましょう		
安全	ナースコール・ベッド柵を設置します 運動靴の使用をお願いします				歩き始めはふらつきます。注意してください 安静の制限はありません			
食事	低残渣食を食べます	朝から絶食です 水分は摂ることが出来ます	水分も食事もとることができません		翌日から水分を取る事ができます			
清潔	入浴やシャワーができます	体を清潔にし髪を洗って下さい 爪切りをしてください	洗面・菌磨きをして下さい 男性の方は髭剃りもして下さい		体拭きをします		状態に応じてシャワーに入れます	
排泄				尿管が入ってきます	尿管を抜きます 便は人工肛門より出ます			
患者様及びご家族への説明生活指導リハビリ栄養指導服薬指導	病棟の案内をします 手術までの流れについて説明します 人工肛門について説明します 呼吸訓練を続けて行います ★腹式呼吸・口すぼめ呼吸 ★咳・痰出しの練習 禁煙はできていますか? 医師から手術についての説明があります 薬剤師による薬の確認がありますので持参して下さい デモ器を用いて背中や手の痛み止めについて、痛みの評価スケールについて説明します 退院後の生活の不安や支援の必要性があるときは担当のソーシャルワーカー()がお話を伺い、必要時転院・退院まで介入を行っていきます	手術に必要な物品がそろっているか確認をしますので、1つの袋にまとめてください。また 全ての物にフルネームで名前を記入して下さい。 麻酔科医の診察があります(月曜日が手術の方は金曜日か当日に診察があります) 手術室看護師の訪問があります 家族の連絡先を確認します	入れ歯・時計・指輪・湿布・眼鏡・コンタクトレンズ・かつらなど手術室に行く前に必ずはずして下さい 貴重品は必ずご家族に預けてください 【HCU入室期間の荷物について】 入院時に持ってこられた荷物は一旦お預かりしますので(貴重品以外)手術当日朝までにまとめておいて下さい。4階家族控え室のロッカー(有料)の使用もできます 手術中、家族の方携帯電話を所持し家族控え室、または院内で待機をお願いします	ご家族には手術が終わり次第、電話で連絡致しますので面会されてください 手術が終わったら、7階のHCU(高度治療室)へ移動します 手術後に主治医からの説明があります 【痛み時の対応】 痛み止めを追加したり、安楽な体位へ調整します。背中や手から痛み止めの管が入っている場合は、ボタンを押して追加の痛み止めを注入することができます。不明な点は看護師へご相談ください。 ・呼吸訓練を行い、痰をしっかり出して肺を広げ肺炎を予防しましょう ・深部静脈血栓症予防のため、足の運動を行います	術後1日目に病棟へ戻りません(術後の状況で変更があります) 人工肛門の管理方法について説明があります。交換方法を練習していきます。(ご家族に協力いただくこともあります) 合併症予防のため痛み止めを使用しながら散歩の時間を増やしていきます			看護師から退院後の生活について説明があります(排泄・食事・日常生活の注意点・ストーマ物品の注文方法など)※別紙パンフレットあり 次回の外来受診日について、医師より説明がありますので必ずご確認ください。 薬剤師より退院処方の説明があります 退院前に栄養士からの栄養指導があります

注1: 病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくに従って変わることがあります。
注2: 入院期間については現時点で予想される期間です。